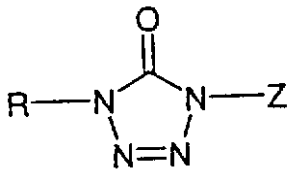
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2001-510144(P2001-510144A)
【公表日】平成13年7月31日(2001.7.31)
【出願番号】特願2000-502668(P2000-502668)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｎ　43/713　　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　47/38　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｎ　43/713
Ａ０１Ｎ　47/38　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年9月22日(2006.9.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　以下を含有する除草組成物：
（ａ）除草有効量の次式の除草性テトラゾリノン化合物、またはそれらの農学的に受容可能な塩：
【化１】



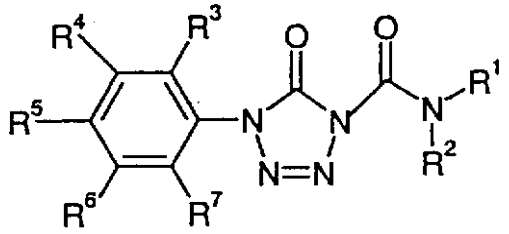
(I)

ここで：
Ｒは、水素、必要に応じて置換したＣ$_1$～Ｃ$_{12}$アルキル、必要に応じて置換したＣ$_2$～Ｃ$_{13}$アルコキシアルキル、必要に応じて置換したＣ$_1$～Ｃ$_{12}$ハロアルキル、必要に応じて置換したＣ$_7$～Ｃ$_9$アラルキル、必要に応じて置換したＣ$_5$～Ｃ$_6$シクロアルキル、必要に応じて置換したＣ$_3$～Ｃ$_{12}$アルケニル、必要に応じて置換したアリール、または必要に応じて置換したヘテロアリールである；
Ｚは、水素、Ｃ$_1$～Ｃ$_5$アルキルカルボニル、Ｃ$_2$～Ｃ$_5$アルコキシカルボニル、必要に応じてＳ（Ｏ）$_n$で置換したフェニルまたはＣ（Ｏ）ＮＲ^{1}Ｒ^{2}であり、ここで、Ｒ^{1}およびＲ^{2}は、同一であるかまたは異なるかのいずれかであり、そして以下からなる群から選択される：水素、必要に応じて置換したＣ$_1$～Ｃ$_6$アルキル、必要に応じて置換したＣ$_3$～Ｃ$_6$アルケニル、必要に応じて置換したＣ$_5$～Ｃ$_6$シクロアルキル、または必要に応じて置換したＣ$_7$～Ｃ$_9$アラルキル；ｎは、０、１または２である；または
Ｒ^{1}およびＲ^{2}は、それらが結合した窒素と一緒になって、必要に応じて置換した飽和または不飽和５員または６員複素環を形成し、ここで、該環のメンバーは、窒素、炭素、酸素またはイオウから選択される；および
（ｂ）解毒有効量の該テトラゾリノン解毒に有効な解毒化合物であって、ここで、該解毒化合物は、以下から選択される化合物である：
ハロアルカン酸のアミド；

置換フェニルピリミジン；
ジフェニルメトキシ酢酸のメチルエステル；
ジフェニルメトキシ酢酸；および
３，３－ジフェニルプロピオン酸。

【請求項２】　成分（ａ）が、式Ｉ（ａ）のテトラゾリノンである、請求項１に記載の除草組成物：

【化２】



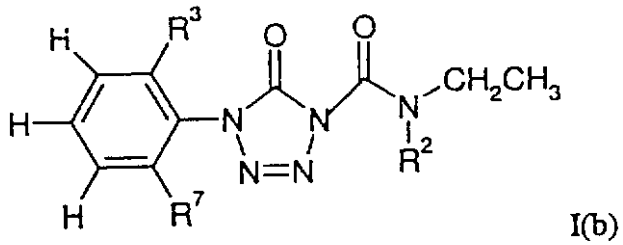
I(a)

ここで、R^1およびR^2は、同一であるかまたは異なるかのいずれかであり、そして水素、必要に応じて置換したC_1～C_{12}アルキル、必要に応じて置換したC_3～C_6アルケニル、必要に応じて置換したC_2～C_{13}アルコキシアルキル、必要に応じて置換したC_1～C_{12}ハロアルキルおよび必要に応じて置換したC_5～C_6シクロアルキルからなる群から選択される；そして

R^3、R^4、R^5、R^6およびR^7は、同一または異なり、そして水素、ハロゲン、必要に応じて置換したC_1～C_{12}アルキル、必要に応じて置換したC_2～C_{13}アルコキシアルキル、必要に応じて置換したC_1～C_{12}ハロアルキルおよび必要に応じて置換したC_5～C_6シクロアルキルからなる群から選択される。

【請求項３】　成分（ａ）が、式Ｉ（ｂ）のテトラゾリノン、またはそれらの農学的に受容可能な塩である、請求項１に記載の除草組成物：

【化３】



I(b)

ここで、R^3は、クロロまたはエチルである；R^7は、水素またはクロロである；そしてR^2は、エチルまたはシクロヘキシルである。

【請求項４】　請求項１に記載の除草組成物であって、成分（ｂ）が、２，２，５－トリメチル－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；２，２－ジメチル－５－フェニル－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；２，２－ジメチル－５－（２－フラニル）－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；２，２－ジメチル－５－（２－チエニル）－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；Ｎ，Ｎ－ジアリルジクロロアセトアミド；２，２－スピロシクロヘキシ－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；２，２－ジメチル－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；４－（ジクロロアセチル）－３，４－ジヒドロ－３－メチル－２Ｈ－１，４－ベンゾキサジン；３－［３－（ジクロロアセチル）－２，２－ジメチル－５－オキサリジニル］ピリジン；４－（ジクロロアセチル）－１－オキサ－４－アザピロ－（４，５）－デカン；２，２－ジクロロ－１－（１，２，３，４－テトラヒドロ－１－メチル－２－イソキノリル）エタノン；シス／トランス－１，４－ビス（ジクロロアセチル）－２，５－ジメチルピペラジン；Ｎ－（ジクロロアセチル）－１，２，３，４－テト

ラヒドロキナルジン；１，５－ビス（ジクロロアセチル）－１，５－ジアザシクロノナン；１－（ジクロロアセチル）－１－アザスピロ［４，４］ノナン；ジフェニルメトキシ酢酸のメチルエステル；４，６－ジクロロ－２－フェニル－ピリミジン；４，６－ジクロロ－２－フェニルピリミジン；ジフェニルメトキシ酢酸；および３，３－ジフェニルプロピオン酸からなる群から選択される、組成物。

【請求項５】　請求項１に記載の除草組成物であって、成分（ｂ）が、２，２，５－トリメチル－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；２，２－ジメチル－５－フェニル－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；２，２－ジメチル－５－（２－フラニル）－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；２，２－ジメチル－５－（２－チエニル）－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；Ｎ，Ｎ－ジアリルジクロロアセトアミド；２，２－スピロシクロヘキシ－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；２，２－ジメチル－Ｎ－ジクロロアセチルオキサゾリジン；および４－（ジクロロアセチル）－３，４－ジヒドロ－３－メチル－２Ｈ－１，４－ベンゾキサジンからなる群から選択される、組成物。

【請求項６】　テトラゾリノン除草剤による作物に対する損傷を少なくする方法であって、該方法は、土壌、作物または種子に、該テトラゾリノン除草剤解毒に有効な解毒化合物の非植物毒性な解毒有効量を適用することを包含し、ここで、該解毒化合物は、以下から選択される化合物である：

ハロアルカン酸のアミド；

置換フェニルピリミジン；

ジフェニルメトキシ酢酸のメチルエステル；

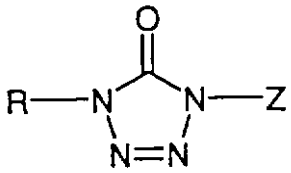
ジフェニルメトキシ酢酸；および

３，３－ジフェニルプロピオン酸。

【請求項７】　前記作物が、トウモロコシ、小麦、米または大豆である、請求項６に記載の方法。

【請求項８】　前記テトラゾリノン除草剤が、次式またはそれらの農学的に受容可能な塩を有する、請求項６または７のいずれかに記載の方法：

【化４】



(I)

ここで：

Ｒは、水素、必要に応じて置換したC_1～C_{12}アルキル、必要に応じて置換したC_2～C_{13}アルコキシアルキル、必要に応じて置換したC_1～C_{12}ハロアルキル、必要に応じて置換したC_7～C_9アラルキル、必要に応じて置換したC_5～C_6シクロアルキル、必要に応じて置換したC_3～C_{12}アルケニル、必要に応じて置換したアリール、または必要に応じて置換したヘテロアリールである；

Ｚは、水素、C_1～C_5アルキルカルボニル、C_2～C_5アルコキシカルボニル、必要に応じてＳ（Ｏ）$_n$で置換したフェニルまたはＣ（Ｏ）ＮＲ^{1}Ｒ^{2}であり、ここで、Ｒ^{1}およびＲ^{2}は、同一であるかまたは異なるかのいずれかであり、そして以下からなる群から選択される：水素、必要に応じて置換したC_1～C_6アルキル、必要に応じて置換したC_3～C_6アルケニル、必要に応じて置換したC_5～C_6シクロアルキル、または必要に応じて置換したC_7～C_9アラルキル；ｎは、０、１または２である；あるいは

Ｒ^{1}およびＲ^{2}は、それらが結合した窒素と一緒になって、必要に応じて置換した飽和または不飽和５員または６員複素環を形成し、ここで、該環のメンバーは、窒素、炭素、酸素およびイオウから選択される。